

## 2025年12月度 高島屋店頭売上速報

### ■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大阪店	+3.4	大宮店	△1.4
堺店	+24.4	柏店	※2 △0.7
京都店	※1 +7.5	E店	+10.9
泉北店	△1.4	(株)高島屋各店計	+4.3
日本橋店	+2.6	岡山高島屋	△0.8
横浜店	+5.7	高崎高島屋	△0.0
新宿店	+0.4	国内百貨店計	+4.1
玉川店	+7.6		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

### ■ 概況

○前年比におきまして、店頭売上高+4.1%、免税売上高△11.1%、免税を除いた店頭売上高+6.0%となりました。

※上記の数値は、第3四半期決算に伴う売上高修正を反映しております。(11月度はマイナス、12月度は同額プラスの修正)

売上高修正を除く実質の前年比は以下のとおりです。

11月度:店頭売上高+3.5% 免税を除いた店頭売上高+4.4%

12月度: " +2.5% " +4.2%

○国内顧客は、気温の低下にともない冬物衣料・雑貨に動きがみられたことや、年末にかけ食料品が堅調に推移したことで前年実績を上回りました。

インバウンド顧客については、中国による「訪日自粛要請」の影響等もあり、前年実績を下回りました。

○店舗別売上高は、大阪店、堺店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、EC店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類)は、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、リビング、食料品、食堂が前年実績を上回りました。